

PIPE NEWS

vol.138

Winter 2013

2013年1月1日発行
2013.No1

MESCO

三井金属エンジニアリング株式会社
パイプ・素材事業部2013
新年号

CONTENTS

上田事業部長 年頭挨拶
平戸副事業部長 年頭挨拶

震災復興事業のご紹介
組織変更のお知らせ

TOPICS
展示会レポート



昨年中は色々お世話になり、心よりお礼申し上げます。

本年も何卒よろしく願いいたします。

2013年 元旦

三井金属エンジニアリング株式会社 パイプ・素材事業部 社員一同

資料ご請求は **MESCO** **検索** でクリック

展示会レポート

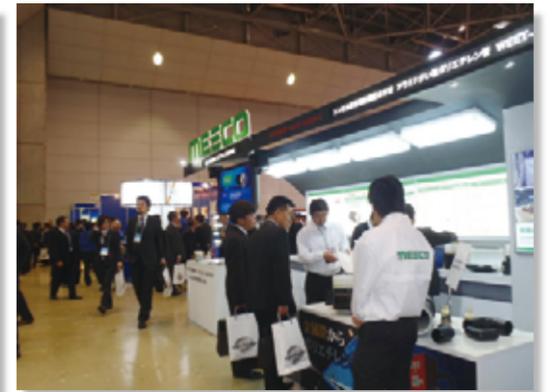
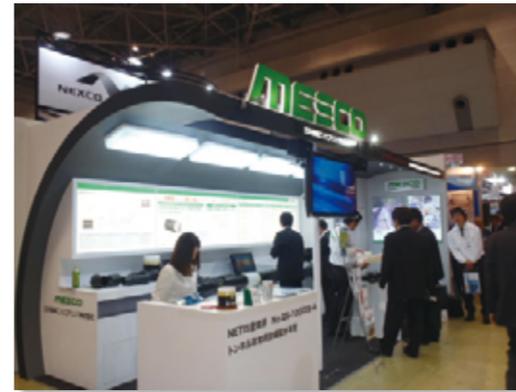
ハイウェイテクノフェア2012

「高速道路を支える最先端技術」をテーマに11月、東京ビックサイトにてハイウェイテクノフェア2012が開催されました。

弊社は「トンネル非常用配水本管 WEET-AP」をメインに高性能複合ポリエチレン管を展示しました。WEET-APはNETIS登録もされた新技術として、全国の新設トンネルや既設トンネルの設備更新にご採用されています。

PE管は耐腐食性など数々の特長を有した資材です。今後もインフラの高機能化、老朽化に伴う更新需要にお応えするために新用途の開発に取り組んでまいります。

多数ご来場いただきありがとうございました。



テクノオーシャン2012

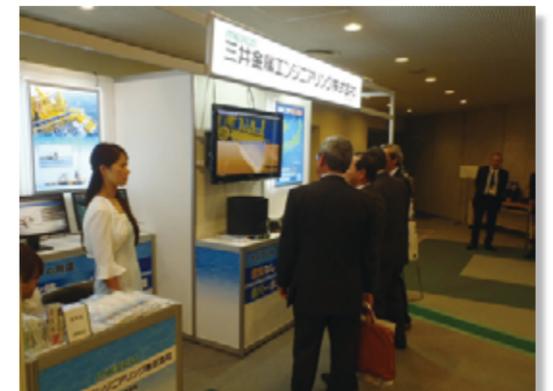
「～安心の海、そして豊かの海へ～」をテーマに11月、神戸国際会議場にてテクノオーシャン2012が開催されました。

この展示会・シンポジウムは隔年で開催される、日本で唯一の「海洋」に関する総合的な展示会です。

また海外関係者も多数参加される開かれたコンベンションとして産官学一体となって運営されました。

弊社はWNG(海底送水管)を中心に、海洋工事・資材・工法について展示しました。

多数ご来場いただきありがとうございました。



MESCO 三井金属エンジニアリング株式会社
パイプ・素材事業部

東京都墨田区錦糸三丁目2番1号 アルカイスト15F
TEL:03-5610-7850(代) FAX:03-5610-7867
発行者:三井金属エンジニアリング株式会社
パイプ・素材事業部 パイプ営業部 営業企画課

2013年 年頭挨拶

2013年の年頭にあたりパイプニュースの紙面を借りまして、
謹んで皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。

日中韓関係の悪化、中東情勢、欧州債務問題、エネルギーコストの増大や供給制約、円高の進行等厳しい内外情勢の中、更に厳しさを増すと予想される新たな年を年男として迎えました。

昨年6月、パイプ事業部は鉛遮蔽材・遮音材を主商品とする素材事業部門と統合し、新たに【パイプ・素材事業部】を発足し、ライフラインに不可欠な配管事業と医療・原子力分野への事業を展開してまいります。

経済観測によりますと、2012年度末には震災復興需要がピークアウトし、2013年度には公共投資は減少に転じると予想されていますが、自然災害に強いポリエチレン管の需要は緩やかではありますが今後も増加が充分期待できます。

従いまして、コスト競争力の向上・品質確保・新商品開発に注力し、お客様にご満足いただける商品・サービスを提供していくことが業績向上へ繋がると確信しております。

また、現在2013年を初年度とする中期計画を策定中ではありますが、確実に実行できる方策をたて目標必達にまい進していく所存であります。

本年もパイプ・素材事業部一丸となって、厳しい環境を乗り越えていく所存ですので、昨年同様皆様方の変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございます。

日頃より、MESCOパイプをご利用頂きまして誠にありがとうございます。

昨年6月の社内組織の改編に伴い、「パイプ・素材事業部」が新たにスタートしました。

大変恐縮では御座いますが、本紙面をお借りしまして自己紹介をさせていただきます。

1974年3月入社、今年4月から39年目に突入します。入社後ほぼ一貫して遮蔽・遮音部門(現素材営業部)の事業に携わってきました。

ディスコやカラオケブーム時の遮音・間仕切り建材として、原子力発電所の建設ラッシュ時の建屋遮蔽や作業者防護用に利用頂きました。現在の主な用途は、病院施設の各種検査室(X線・CT・PET・MRI)やがん治療室の防護建材としてご利用頂いております。

また、昨年の3・11を起因として発生した福島原発事故以来、環境面で嫌われて来た鉛が放射線から身を守るには不可欠と言う事で見直されています。

「自然災害に強いポリエチレン管・MESCOパイプ」と「放射線からあなたの心と身体を守る・オンシャット」のシナジー効果は13中計に折込み実行します。

今後共、お客様にご満足いただける商品とサービスを提供させていただきますので、何卒ご愛顧の程よろしくお願いいたします。



代表取締役常務
パイプ・素材事業部長
上田 義則



取締役
副事業部長
兼 素材営業部長
平戸 喜一郎

震災復興事業のご紹介

vol.135、136で東日本大震災における当社製品の状況をレポートしました。
本号では当社製品が関わった復興事業の一端をご案内します。

宮城県：女川町海底送水管復旧工事

3.11東日本大震災により女川町出島と江島を結ぶ、既設海底送水管(約9,000m)が甚大な被害を被りました。このたび国の復興予算等を受け弊社「複合PE管(WNGφ80)」にて敷設替えを行う事となりました。写真は弊社大分工場近郊の港湾施設にて待機している布設台船ですが、本号が皆様のお手元に届く頃には海底部の敷設が完了している事と思います。弊社では1日でも早く島民のライフライン復旧に向けて関係先と協力のうえ、早期の完工を目指して取り組んでいます。



大分工場にて台船に積み込まれたWNGパイプ



宮城県女川町の現場で布設されるWNGパイプ

組織変更のお知らせ

パイプ事業部とエンジニアリング事業部の素材営業部は2012年6月組織統合してパイプ・素材事業部となりました。統合によるシナジー効果を最大限に発揮しお客様に信頼される事業部として邁進してまいります。今後もご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。なお、住所・電話番号等の変更はございません。

